

OTS 2024 への参加報告

理学研究科理学専攻 物質・生命化学領域 生物無機化学研究室

博士後期課程 1年 望月直哉

【出張先・出張期間】

カナダ・モントリオール 2024年10月5日～10月11日

【出張目的】

20th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society (OTS 2024) (10/6～9)への参加及びポスター発表と学会参加者とのディスカッション

【概要】

モントリオール市内のホテルで開催された OTS 2024 に参加し、「Improved Double-Stranded DNA Recognition via Invasion with Multiple Pairs of Parallel-Stranded Peptide Nucleic Acids (PNA)」というタイトルでポスター発表を行った。本学会は核酸化学を用いた治療を志向した国際学会であり、北米以外にも多くの地域からの参加者がおり、合計 51 件の講演と 294 件のポスター発表が行われた。

【所感】

本学会は自身にとって初めての海外開催の国際学会であり、仏語が第一言語の地域であったため言語の違いを含め非常に刺激的な体験となった。本学会では期間中にノーベル医学・生理学賞の受賞が発表された、マイクロ RNA の役割を利用した治療に関する研究や、mRNA ワクチンといった核酸を用いた分野の応用研究について数多く発表されていた。そのため、自身のポスター発表についても、応用に向けた視点からコメント・アドバイスを頂くことが出来た。現在取り組んでいる人工核酸を用いた 2 本鎖 DNA 認識手法の基礎的な知見だけでなく、今後の研究展開について深く考える良い機会となった。空き時間には京都の碁盤目のような整然とした街並みを散策するだけでなく、カナダを始めとした様々な国をルーツとした食事から、国際色溢れる文化に触れる経験を得ることが出来た。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださいました 荘司長三教授、旅費をはじめとした様々なご支援をいただいた GTR 学生支援室の皆様に深く感謝申し上げます。



ポスター発表の様子と、モントリオールの街並み